

「ナノマテリアルの実用展開」 in ナノマテリアルコロキウム

ナノテクノロジー領域の中で、ナノマテリアルは高機能材料として注目を浴びているが、多くは必ずしも実用化には至っていない。

本講演会では、デバイスや医工指向でナノマテリアルを扱う若手研究者の開発動向を探るとともに、最新情報や今後の動向を学ぶ。

主催：日本化学会東北支部

日時・開催場所：2018年1月19日 13:20～17:20

山形大学有機材料システムフロンティアセンター 2F 未来ホール
(<https://from.yz.yamagata-u.ac.jp/access.html>)

13:20-13:30

趣旨説明

増原 陽人 (山形大学大学院 理工学研究科)

(デバイス関連ナノマテリアル)

13:30-14:00

「実用的合成法による共役高分子の開発と薄膜デバイス応用」

安田 剛 (国立研究開発法人物質・材料研究機構)

14:00-14:30

「有機系太陽電池における分子配向制御とナノ構造制御の利点」

當摩 哲也 (金沢大学 新学術創成研究機構)

14:30-15:00

「励起一重項-三重項変換を可能にする有機半導体材料の設計・合成・デバイス応用」

夫 勇進 (理化学研究所 創発超分子材料研究チーム)

15:00-15:30

「溶媒アニールによるくし形高分子の階層構造化」

松井 淳 (山形大学 理学部)

15:30-15:45

Coffee break

(バイオ関連ナノマテリアル)

15:45-16:15

「再沈法を駆使したナノ薬剤の開発」

笠井 均 (東北大学 多元物質化学研究所)

16:15-16:45

「Layer by layer法を利用した抗がん剤含有ナノ粒子のコーティングと細胞への取込み観察」

猪瀬 朋子 (北海道大学 電子科学研究所)

(ナノマテリアルの解析)

16:45-17:15

「超解像蛍光顕微鏡法によるナノ領域の物性評価」

伊都 将司 (大阪大学大学院 基礎工学研究科)

17:15-17:20

Concluding remarks

増原 陽人 (山形大学大学院 理工学研究科)

(講演時間 30 min / person, including Q&A)